



### 「亞留行會」行記

六月廿四日未明、幾度か枕野大権現堂を祀る堂宇を  
もたげて天の橋を何ふ百金を投じて新築せるもの  
昨夜よりの曇天晴れさうにして、其結構の美、個人  
もなく出發途約一時間、の氏神として殆んど他に  
漸く決行の指令下りて集ま  
る者六名。  
扱其扮装は御大三猿文庫主ふに足る。語隔々日露戦役  
の何時も變らぬ和服姿に下當時に及ぶ、一子清氏の無  
歌を穿ちながら郊外散歩事長久を祈りし嚴父、祖父  
のそれの如く昨夏は体重二等の此社に祈願せる繪馬猶  
十三貫余を持つて奥三山を存じゆかしき心に打たれ豪  
終始一貫徒歩にて廻拜せる快なる氏の話聞き茶など  
家の者、亞留行會の御大の獲て第一の目的地平上水  
貫録充分なり、敬一郎氏は瀧邊池に向ふ。  
學生服に細身のステッキ、好問線より少し入れば平町  
安藤氏の支那服姿に目立ち、専用の道開け急坂を登りて  
阿部輪店氏先達の委宜敷く一本松に出ず、坂を登り切り  
筆者太田共に軽快なる薄背れば又地や、開け水田など  
廣、先づ第一に子鐵倉神社の間道を行けば瀧邊池に到  
に詣り新築未だ日淺く木の。係員の懇篤なる説明を  
香ゆかしく干社札を貼る者受け、平町の生命線水道の  
なし。勇敢に先づ此の日の如何に設備に費用を要し、  
第一枚目を此處に貼付武運又毎日の通水殺菌に如何な  
長久と此日の成功を祈り入る苦心を拂ひ居るかを納得  
坂、天神其他の社々に詣りて共に主婦、女生徒等に一  
八幡宮に至る、千古の老杉度此れを見學せしめ貴重な  
巖岩として茂り社殿、舞臺の水の取扱の参考を資せば  
堂、敷石等古來そのまゝにやな等語り合ひ、禮を述べ  
して却つて奥ゆかしく首目て取入口へ向ふ。途中又む  
ら下るを覺ゆ。次に中學校沿道の社々に詣り、奥好問  
前熊野宮に詣り、此處も新地内に八坂神社あり社殿規  
築早々にして亞留行會の札模小なれども其結構古風に  
のみ目立ちて嬉し、又ややして何となく壯麗古風にも  
坂を久保町に下りて鏡稻荷のをして足止めしむ。少  
に詣り好問地内に入る。自慰して蛇腹淵に至る、其昔  
動車盛んに砂塵を立て、疾老樹鬱蒼、淵深く、淵主近  
走すれども亞留行會の本旨の乙女を戀して掻き走り  
に則り道を好問坑方面へと蛇の精を宿さしむ。乙女世  
進む。途中好問の篤志家叶を果敢んで此の淵に身を投  
田清氏を訪ふ、氏の庭内にて終へんと、今は四方在り  
拓けてさして淋しからず、電所の黒煙天に沖するを見  
砂利ふるう人の歌のみ岩に。警發電所の黒煙は正  
木霊して只往時を忍びしむに平町標識唯一の存在なり  
のみ。  
此れより炭坑地帯を山に登  
り十數町好問川上流を數十  
丈の下に見下して漸崖の細  
道を奥へ奥へと進む。好問  
江筋の清流は道と共に流れ  
下る。深谷は狭陰なれども  
点々小炭坑の細煙立ち遠く  
平町警發電所の煙をのぞ  
取入口に到る。數十丈の高  
所より好問川の川底迄鐵管  
を花崗岩にて包み垂直に下  
して急激なる落差を生ぜし  
む。此の處所謂往年問題た  
りし取入口なり。猶進めば  
絶壁の間、岩洞の中をくぐ  
りて細道盡くす所即取入口  
の天の利に入りを加へ壁貼  
にして余水を入るる設し。一  
備工夫を凝せる所なり。小  
屋大の石点々して爲めに  
泉源湧き河鹿期に鳴き山間  
の小鳥と相和して妙味を添  
上流の兩岸幽靜にして水に  
映じ京都荒山を誇誇たらし  
下山の途に著く、一行色取  
に働く者道行く人驚異の眼  
を以て送り迎ふ。漸くし  
に御好問に下り、道を山腹に  
て宮炭坑地内に入る。蜘蛛  
群り集りて一行を見守る。  
漸く歩かん細道なり。初ら  
者あり端杖の筆少しく顔の  
はてるを覺ゆ。宮より緩迄  
電車通すれども此れにも乗  
電所の黒煙天に沖するを見  
然たる頃長橋に辿り着く。  
平町の地を踏し時今日の行  
程を省てホッと息なれぬ  
「二葉生記」

### 三猿文庫

- 最近寄贈本(三)
- 現代哲學概論 土田杏村著
  - 人生論 全 著
  - 人生如何に生くべきか
  - 藝術と人生 思想体系
  - 昭和七年版圖書分類目録
  - 昭和新報 第六六六號
  - 昭和新報 第六六七號
  - 昭和新報 第六六八號
  - 昭和新報 第六六九號
  - 昭和新報 第六七〇號
  - 昭和新報 第六七一號
  - 昭和新報 第六七二號
  - 昭和新報 第六七三號
  - 昭和新報 第六七四號
  - 昭和新報 第六七五號
  - 昭和新報 第六七六號
  - 昭和新報 第六七七號
  - 昭和新報 第六七八號
  - 昭和新報 第六七九號
  - 昭和新報 第六八〇號
  - 昭和新報 第六八一號
  - 昭和新報 第六八二號
  - 昭和新報 第六八三號
  - 昭和新報 第六八四號
  - 昭和新報 第六八五號
  - 昭和新報 第六八六號
  - 昭和新報 第六八七號
  - 昭和新報 第六八八號
  - 昭和新報 第六八九號
  - 昭和新報 第六九〇號
  - 昭和新報 第六九一號
  - 昭和新報 第六九二號
  - 昭和新報 第六九三號
  - 昭和新報 第六九四號
  - 昭和新報 第六九五號
  - 昭和新報 第六九六號
  - 昭和新報 第六九七號
  - 昭和新報 第六九八號
  - 昭和新報 第六九九號
  - 昭和新報 第七〇〇號
  - 昭和新報 第七〇一號
  - 昭和新報 第七〇二號
  - 昭和新報 第七〇三號
  - 昭和新報 第七〇四號
  - 昭和新報 第七〇五號
  - 昭和新報 第七〇六號
  - 昭和新報 第七〇七號
  - 昭和新報 第七〇八號
  - 昭和新報 第七〇九號
  - 昭和新報 第七一〇號
  - 昭和新報 第七一一號
  - 昭和新報 第七一二號
  - 昭和新報 第七一三號
  - 昭和新報 第七一四號
  - 昭和新報 第七一五號
  - 昭和新報 第七一六號
  - 昭和新報 第七一七號
  - 昭和新報 第七一八號
  - 昭和新報 第七一九號
  - 昭和新報 第七二〇號
  - 昭和新報 第七二一號
  - 昭和新報 第七二二號
  - 昭和新報 第七二三號
  - 昭和新報 第七二四號
  - 昭和新報 第七二五號
  - 昭和新報 第七二六號
  - 昭和新報 第七二七號
  - 昭和新報 第七二八號
  - 昭和新報 第七二九號
  - 昭和新報 第七三〇號
  - 昭和新報 第七三一號
  - 昭和新報 第七三二號
  - 昭和新報 第七三三號
  - 昭和新報 第七三四號
  - 昭和新報 第七三五號
  - 昭和新報 第七三六號
  - 昭和新報 第七三七號
  - 昭和新報 第七三八號
  - 昭和新報 第七三九號
  - 昭和新報 第七四〇號
  - 昭和新報 第七四一號
  - 昭和新報 第七四二號
  - 昭和新報 第七四三號
  - 昭和新報 第七四四號
  - 昭和新報 第七四五號
  - 昭和新報 第七四六號
  - 昭和新報 第七四七號
  - 昭和新報 第七四八號
  - 昭和新報 第七四九號
  - 昭和新報 第七五〇號
  - 昭和新報 第七五一號
  - 昭和新報 第七五二號
  - 昭和新報 第七五三號
  - 昭和新報 第七五四號
  - 昭和新報 第七五五號
  - 昭和新報 第七五六號
  - 昭和新報 第七五七號
  - 昭和新報 第七五八號
  - 昭和新報 第七五九號
  - 昭和新報 第七六〇號
  - 昭和新報 第七六一號
  - 昭和新報 第七六二號
  - 昭和新報 第七六三號
  - 昭和新報 第七六四號
  - 昭和新報 第七六五號
  - 昭和新報 第七六六號
  - 昭和新報 第七六七號
  - 昭和新報 第七六八號
  - 昭和新報 第七六九號
  - 昭和新報 第七七〇號
  - 昭和新報 第七七一號
  - 昭和新報 第七七二號
  - 昭和新報 第七七三號
  - 昭和新報 第七七四號
  - 昭和新報 第七七五號
  - 昭和新報 第七七六號
  - 昭和新報 第七七七號
  - 昭和新報 第七七八號
  - 昭和新報 第七七九號
  - 昭和新報 第七八〇號
  - 昭和新報 第七八一號
  - 昭和新報 第七八二號
  - 昭和新報 第七八三號
  - 昭和新報 第七八四號
  - 昭和新報 第七八五號
  - 昭和新報 第七八六號
  - 昭和新報 第七八七號
  - 昭和新報 第七八八號
  - 昭和新報 第七八九號
  - 昭和新報 第七九〇號
  - 昭和新報 第七九一號
  - 昭和新報 第七九二號
  - 昭和新報 第七九三號
  - 昭和新報 第七九四號
  - 昭和新報 第七九五號
  - 昭和新報 第七九六號
  - 昭和新報 第七九七號
  - 昭和新報 第七九八號
  - 昭和新報 第七九九號
  - 昭和新報 第八〇〇號

### 度量衡販賣

液体空氣會社製  
酸素含有量(百分中)  
吸入用酸素、酸素吸入器  
(東京工業試験所證明)

### 藤沼醫院

内科、小兒科、皮膚科  
平町紺屋町  
電話五〇七番

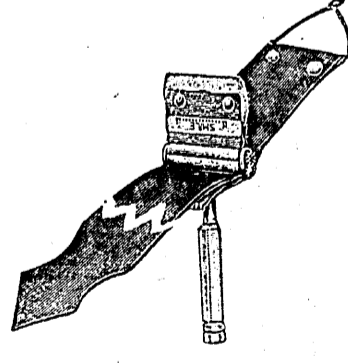
### 平町紺屋町

電話五〇七番

### 平町紺屋町

電話五〇七番

### 新製品 ヨツト安全剃刀



研器兼用  
皮紙付  
替刃三枚付  
1.00

平町五丁目  
釜屋商店  
電話九番・九九番

磐城セメント代理店  
西村屋藥舗  
平町二丁目  
長電話三番

營養豊富、食ベテオイシ、無砂搗米  
山野邊無砂搗精米所  
電話三一八番

辰(官)許平町中町  
砂クサのクスリ  
膏(家傳妙藥)本舗山田盤磨

平町田町  
高久病院  
電話五一三番